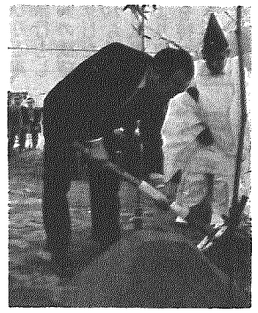
小杉地区コミュニティセンターの建設着手

コミュニティの拠点施設

待望されていたコミュニティセンターの建設が、さる十月十六日地鎮祭を行い来年三月完成をめざしはじまりました。

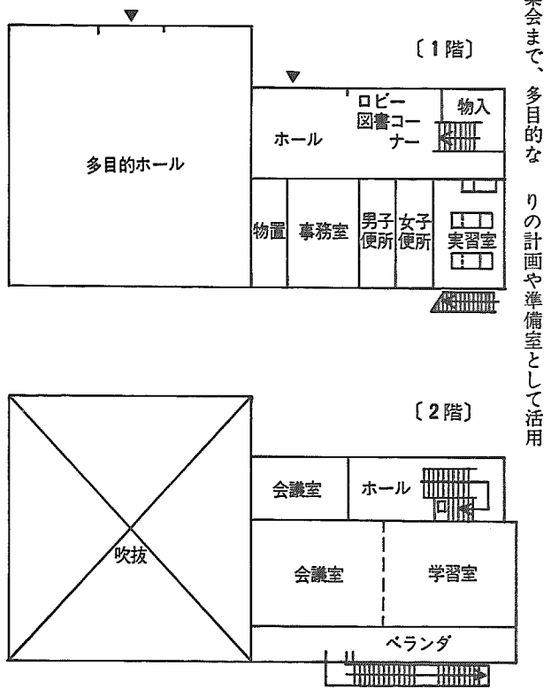

地鎮祭で鍬入する浅見村長

〝地域のことは他人まかせでなく、みんなで考え、自らの行動によって課題を解決しよう〟をスローガンにコミュニティ活動を推進している小杉地区で、「小杉地区コミュニティ計画」の拠点施設としてのコミュニティセンターは、小杉分館敷地内に建てられるもので、鉄骨一部二階建て延床面積三八八平方㍍（一階二七八平方㍍、二階一一二平方㍍）。

工事費は五、三〇〇万円でこのうち自治総合センターの宝くじの普及広報事業による補助金二、〇〇〇万円を受けることとなっています。

施設内容としては、多目的ホールが一五二平方㍍でスポーツから集会まで、多目的な利用が期待され、さらに一階の料理実習室には、調理台が三台入り、料理講習に利用されます。玄関を入った正面には事務室があって、地域づくりの計画や準備室として活用されることとなっています。二階は、利便性を高めた三十九畳敷（二室区切）の和室と、小会議用に洋間の会議室が利用できるようにしています。

【平面図】



風の子児童会の歌も披露される

横越小

統合十周年記念式典

記念誌や児童会の歌も披露

横越小学校の統合十周年を祝う記念式典が、十月十三日に多数の来賓と統合以来の教職員関係者や児童らが出席して行われました。

神田元村長当時の五十一年四月に旧四学区が統合して十八学級・六三八人で発足した統合小学校も、村・学校・PTAの協力により、プール・アスレチック施設、校舎の増築と環境整備が着々進み、現在二十四学級、八九三人と、中蒲原郡内でも有数の学校となっています。

式典では、長沢校長・熊木PTA会長のあいさつ、開校当時PTA会長だった浅見村長から、校歌制定当時のユーモラスなエピソードを交えたお祝いのことばなどがあったあと、児童会による十年の歩みのスライドの映写、そして児童自身の作詩作曲による「風の子児童会の歌」の発表が行われました。

また、十周年を記念して、式典のほか六月に記念運動会十月には記念文化祭が行われ記念誌も刊行されました。

記念誌の一部訂正についてお願い

「横越小学校統合十周年記念誌」を次のようにご訂正いただきたいと存じます。

頁	現行	修正
18	二十五学級	二十四学級
31	谷井　稔	谷井一弘

誤りのため、ご迷惑をおかけいたしました。

献血にご協力を

11月22日、改善センター前で午前10時から午後3時まで、献血車ゆうあい号が来村します。献血にご協力ください。

＝作業停電＝

11月8日(金)
午前8時～12時
川根谷内　一部

11月13日(水)
午後1時30分～4時30分
横越上・中沢海・木津上　一部

11月20日(水)
午前8時30分～12時
横越中・下　川根谷内　一部

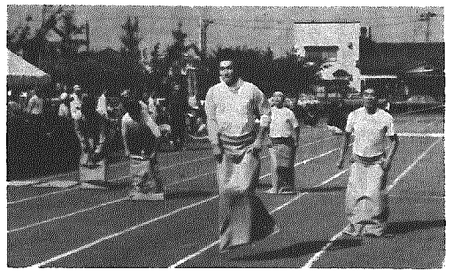
第7回横越村農業祭

11月22・23日
午前9時～
午後3時

農村環境改善センター
○農産物品評会
○農畜産物即売会
○余技展
○特産展
○映写会
○特産物無料配布
抽選会

＝第16回村民運動会＝

横越地区が6回目の優勝



第十六回村民大運動会が、秋晴れの十月十日体育の日に、横越小学校グランドで行われ横越地区が通算六回目の優勝をしました。

村内五地区から選手、応援団ら千人余りが参加し、大会会長浅見村長らからのあいさつのあと、杵鞭章平さん（沢海）の選手宣誓で競技が始められました。

地区対抗の玉入れ・水を大切に・むかでリレー・大波小波・綱引き・選抜リレーの種目では、各地区とも競技と応援に熱が入り大健闘、みんないい汗を流し盛り上がった運動会でした。

また、この運動会の席上、村体育協会（会長佐藤栄太郎）は、体育功労者として、故増渕一平さん（柔道・体協理事長）と曽我広見さん（前体協会長）及び優秀競技者九人の表彰をしました。

運動会成績
一位　横越地区
二位　二本木地区・小杉地区

村内一斉空かん回収

村民一、三〇〇人が参加

秋の環境美化運動が十月いっぱい実施されたなかで、十月十三日村と公衆衛生協議会の呼びかけで、村民約一、三〇〇人が参加してクリーン作戦が行われました。

各地区ごとで、早朝六時ころから十時ころまでの間、一時間余りビニール袋を手に、村内主要道路に投げ捨てられた空きかんやゴミなど、一トントラックで十六台分を回収しました。

県道横越・新潟線で

当日、回収にあたった村民は、依然多いポイ捨て空きかんやゴミなどに驚きながらも、回収作業に励んでいました。

11月の納税

固定資産税　4期
国民年金保険料　4期
下水道受益者負担金　3期
納期まで忘れずに納めましょう

定年延長奨励金等説明会開催のご案内

日時　昭和60年12月4日(水)
午前1時30分～3時30分
場所　新潟公共職業安定所
2階大会議室
（新潟市万代3丁目4～38）
申込方法　右記の民営・助成金部門（☎三三一一）内線五二）に電話で申込みください。

定年延長奨励金制度

労働協約及び就業規則の改正によって定年年齢を56歳以上に引上げた事業主に助成

高年齢者雇用確保助成金制度

60歳以上の定年年齢を定めている事業主で、労働協約及び就業規則の改正によって、新たに61歳以上の雇用延長制度（定年延長・勤務延長・再雇用・関連企業への出向）を設けた事業に助成

◎助成額は、双方とも同額で引上げられたことにより恩恵をうける労働者1人につき、年額30万円（中小企業40万円）

なお、高年齢者雇用確保助成金制度に短時間勤務者（パート）の雇用延長に対する助成制度も新設されました。

◎申請期限は毎年1月4日～1月31日

1985年農業センサス

減少し続ける農家数

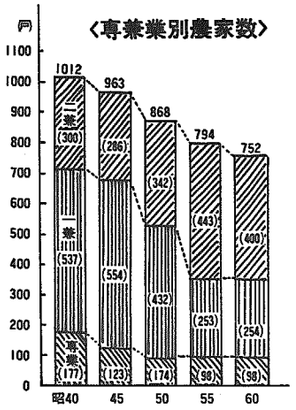
―第二種兼業農家が減少―

五年に一回実施される農業センサスの調査が今年の二月一日現在で実施され、このほどその中間結果が県の統計課から発表されました。

それによると、横越村の農家数は七五二戸で前回の昭和五十五年より四十二戸減少しそのなかでも、第二種兼業農家が減っていることがわかりました。

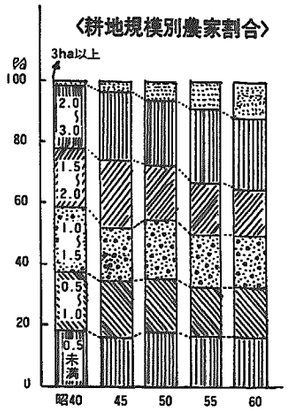
農家数のうごき

昭和四十年から昭和六十年までの二十年間で、二六〇戸の農家が減少し、特に昭和四十五年から急激に減少しています。



五十五年には第一種兼業農家が大幅に減少しましたが、昭和六十年では専業・第一種兼業農家とも横ばい状態で推移しています。

専兼業別では、昭和四十年代後半からの高度経済成長の影響などで、第二種兼業農家が急増したことにより、昭和五十五年には第一種兼業農家が大幅に減少しましたが、昭和六十年では専業・第一種兼業農家とも横ばい状態で推移しています。



耕地規模別農家数

耕地の規模別農家数割合をみると、二ha～三ha層が二十三%と最も多く、一・五ha～二ha層で十五%、三ha以上層で十三%となっており、一・五ha以上で五割以上を占めています。

また、階層別割合の推移をみると、一・五ha以下の階層では昭和五十五年から五十%でほぼ横ばい状態であるのに対し、上位階層特に三ha以上層で、耕地の集積がかなり進んできていることがうかがえます。

農業従事者数

農業従事者数は一、三六〇人となり、男女別では、男子が六〇五人（全体の四十四%）女子が七五五人（同五十六%）と、女子の従事者がやや上回っています。

特に農業従事者年齢で五十歳以上をみると、男子が三九二人（全体の六十五%）、女子が四八〇人（同六十四%）と六割を超え、益々高齢化が進んできています。